



田島 実 略 歴

1925年 神戸に生まれる。3才で横浜へ

1943年 県立神奈川工業図案科卒業

1949年 株式会社 松屋入社；銀座、浅草、横浜、各店にて装飾デザイン担当

1994年 株式会社 松屋退社

1995年 イタリア、スイス、フランス、取材旅行

1997年 八ヶ岳原村にアトリエ構える；第一回個展（銀座アートギャラリー）；
白亜美術協会展初出品（東京都美術館）；新人賞、水庭賞 受賞

1998年 風展出品（県民ホール）；港の作家展出品（市民ギャラリー）（これより毎年出品）；白亜美術協会展出品（東京都美術館）（これより毎年出品、委員務める）；白亜神奈川支部展出品（市民ギャラリー）；横浜市長賞、受賞（これより毎年出品）

1999年 風展出品（県民ホール）；絵画展＜みなど＞出品（ギャラリー横浜）

2000年 風展出品（県民ホール）；高遠の四季展出品（高遠美術館）；第二回個展（ガレリアセルテ）
絵画展＜みなど＞出品（ギャラリー横浜）

2001年 風展出品（県民ホール）；絵画展＜みなど＞出品（ギャラリー横浜）；ナーサリーライムにて小品展（下
諏訪町）信濃毎日新聞より取材受ける； 対談、作品共掲載される

2002年 キャメルにて小品展（横浜反町）；シアトルに滞在、取材スケッチ旅行

2003年 風展出品（県民ホール）；キャメルにて小品展（横浜反町）

2004年 第三回個展喜寿記念展（ガレリアセルテ）

2005年 諏訪中央病院入院（頸椎症手術）；手術に依り油彩を断念し以降水彩を主体とする

2006年 風展出品（市民ギャラリー）；白亜美術協会、港の作家、退会

2007年 第四回個展傘寿水彩記念展（ガレリアセルテ）；キャメルにて水彩小品展（横浜反町）

2008年 キャメルにて水彩小品展（横浜反町）

2009年 岡谷の眼科にて 白内障手術

・ ・ 当時の心境 ・ ・

右目の時は感じなかったが左目をやって屋外で色に気付く、
鮮やかな空の色、しまった、まずかった、後悔しても始まらぬ、

80余年かけて少しずつ貯えた私の色がなくなった

淋しい！悲しい！何と言う事をしてしまったのか・・・

2010年 親友逝く

親友の死、私も何時消えても良いが私には未だ未だ未練がある。

佳い絵、渾身の絵、私には私なりの円熟の絵が残せていないからだ

どうしても！なんとしても！これだけは残したい！描きたい！

2011年 キャメルにて水彩小品展（横浜反町）

12月 病に臥す

2013年 ・ ・ 夫人談 ・ ・

天井と睨めっこしている実さん。何考えているの？と問う

絵の構図。忙しいんだ・・・と返事が返る

その手に再び絵筆が戻った時、きっと情感溢れ詩情豊かな作品が沢山生まれ私達の心を和ませてくれると信じています